



いわき市

臨時市長記者会見

令和4年1月11日



いわき市

案 件

- 1 令和4年いわき市議会1月臨時会の提出案件について

令和4年1月臨時会における補正予算案の概要

一般会計補正予算総額：53億5,284万9千円

【補正の目的】

- ①国の補正予算成立に伴い措置すべき経費を補正措置
- ②その他市政執行に要する経費を補正措置

①住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費

➤ 補正額 44億2,826万4千円

国の経済対策
市民生活支援

国の経済対策に沿って、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、住民税非課税世帯等を支援するための給付金を支給します。

【給付対象世帯】

- ①住民税非課税世帯
- ②家計急変世帯

【給付額】

1世帯当たり 10万円 (申請期限:令和4年9月30日)

②キャッシュレス決済ポイント還元事業費

➤ **補正額 5億1,988万2千円**

ゆるやかなアクセラ

コロナ禍で落ち込む消費を喚起し、市内事業者を支援するとともに、非接触型の「新しい生活様式」への転換を図るため、キャッシュレス決済を行った消費者に対してポイント還元を行う事業を実施します。

【実施期間】

令和4年3月1日～3月31日

【ポイント還元率、ポイント付与上限額】

決済金額の30% 3,000円/回 15,000円/期間

③新型コロナウイルスワクチン接種対策費

➤ **補正額 1億7,311万7千円**

確かなブレーキ

国が新型コロナウイルスワクチン接種対象者の拡大及び3回目接種の前倒しについての方針を示したことに伴い、ワクチン接種に要する経費を増額します。

【接種対象者の拡大】

12歳以上 ⇒ **5歳以上**

【3回目接種の前倒し】※これまでは2回目接種から原則8か月経過後

医療従事者及び高齢者施設入所者等 ⇒ **6か月後**(2か月前倒し)

その他の高齢者 ⇒ **7か月後**(1か月前倒し)

職域接種 ⇒ **前倒しを想定**(2か月前倒しを想定して準備)

④原油高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業費

➤ 補正額 1億3,026万5千円

市民生活支援

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中での原油価格の高騰を受け、生活困窮世帯を支援するため、暖房用灯油の購入費等を助成します。

【対象世帯】※住民税非課税世帯のうち、次のいずれかに該当する世帯

- ①65歳以上の高齢者のみの世帯
- ②障がい者世帯
- ③ひとり親世帯

【助成額】

1世帯当たり 5,000円

⑤新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

➤ 補正額 8,996万2千円

国の経済対策
市民生活支援

社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付における総合支援資金の利用限度に達した世帯などで一定の要件を満たす生活困窮世帯に対する支援金について、国が申請期間を延長するとともに、対象世帯を拡大したことに伴い、支給に要する経費を増額します。

【支給額】

単身世帯	⇒ 6万円/月
2人世帯	⇒ 8万円/月
3人以上世帯	⇒ 10万円/月

⑥新型コロナウイルス感染症対策水稻種子等購入費補助金

➤ **補正額 1,135万9千円**

ゆるやかなアクセセル

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた水稻農家の経営を支援するため、令和4年産米の水稻種子等の購入費の一部を補助します。

【補助額】

種子等購入費(基本単価630円/kg)の10%以内を補助



いわき市

案件

2 新型コロナウイルス感染症に係る新たなレベル分類の判断指標の設定と対応について

〈令和4年1月6日〉

新たなレベル分類の 判断指標の設定と対応について

(まとめ)

いわき市新型コロナウイルス
感染症対策本部事務局

旧ステージと新レベルの指標

これまでのステージ分類		新たなレベル分類	必要とされる対策
ステージ I	感染者の散発的発生	レベル 0 【感染者ゼロレベル】 新規陽性者数ゼロを維持できている状況	○基本的感染症対策など一定の条件の下で、 教育や日常生活、社会経済活動も可能。
ステージ II	感染者の漸増	レベル 1 【維持すべきレベル】 安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況	
ステージ III	感染者の急増	レベル 2 【警戒を強化すべきレベル】 新規陽性者数の増加傾向、医療の負荷が生じはじめる状況	○ <u>地方部への感染拡大について警戒。</u> ○ <u>感染リスクの高い場所の回避の呼びかけ、レベル3で行う対策の準備</u>
ステージ IV	爆発的な感染拡大	レベル 3 【対策を強化すべきレベル】 一般医療を相当程度制限しなければ、感染症への医療の対応ができない状況（従来のステージ3の最終局面及びステージ4に相当）	○大都市圏では、 <u>広域的に「強い対策」</u> ○地方部では、 <u>まん延防止等重点措置</u> も含め、効果的な対策。 ○ <u>「ワクチン・検査パッケージ」の停止を検討</u>
		レベル 4 【避けたいレベル】 一般医療を大きく制限しても、感染症への医療に対応できない状況（各自治体の最大確保病床数を超えた数の入院が必要）	○都道府県及び医療の現場の判断により <u>一般医療の制限やトリアージ</u> などを含めた対応。 ○国は、 <u>災害医療的な対応</u> として都道府県の支援、国民に医療の状況について周知

いわき市のレベル分類の目安と対策

レベル分類		市の判断指標		対策の概要	
		新規感染者数 (10万人当たり/1週間)	病床使用率	公共施設	庁内業務
レベル0 【感染者ゼロレベル】		0人			警戒態勢 63人
レベル1 【維持すべきレベル】		5人未満			
レベル2 【警戒を強化すべきレベル】	2-1	5人～15人未満	20%超		第1配備 83人
	2-2	15人～25人未満	20%超	利用制限	
レベル3 【対策を強化すべきレベル】		25人～50人未満	50%超	閉館	・非常時優先業務 第2配備 117人
レベル4 【避けたいレベル】		50人超	50%超		第3配備 142人

※レベルは、新規感染者数、病床使用率のいずれかに該当すれば適用。